

令和 2 年度 肝属川学識者懇談会 議事概要

○開催日時：令和 2 年 1 2 月 7 日（月） 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0

○開催方法：web 会議

○主な意見等（青字は事務所からの回答）

◆甫木水門事後評価について

・この川の計画では、どの程度の雨を想定しているのか。

→県の甫木川は、直轄ほど安全度が高くなく、1/10 程度で整備することが多い。この河川も同様だと聞いている。

・P4 の便益が増えているのは、社会的割引率で現時点評価にした場合の数値ということによいのか。

→そのとおりである。

・甫木川の令和 2 年 7 月出水の際の被害の原因は、甫木川そのものの増水によるものなのか、本川からの背水によるものなのか、どう考えているか。

→令和 2 年 7 月は、水門改築と河川整備の効果で、被害はなかったという調査結果が出ている。甫木水門は鹿屋市に管理を委託しており、令和 2 年は 4 回操作を行っているが、いずれも水門を閉めたことはなく、開けたままであった。したがって、本川からの逆流は生じていない。

・本日提示された甫木水門の事後評価の原案について了承する。

(以上)